

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	動画実習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信
時 間 数	前期：48 時間 / 後期： 時間	実務経験：平成元年より 3DCG 制作業務に従事。 独立後に在阪 TV 局での番組映像制作の経験から講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	現代の広告手法に欠かせない「動画・映像」の効果や仕組みについて学び、動画の制作実習を通して自身の表現手段を増やす。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	動画の特徴を理解し、案件に合わせた表現手法選択ができるようになること。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	・ 動画コンテンツの特徴と効能の理解 ・ 基本的な編集技術の習得 ・ 企画構成、演出の理解		
到 達 目 標	・ 動画コンテンツの特徴を理解している ・ カットをつないでシーンを構成できる ・ 適切な編集ができる ・ 企画を映像化できる		
成 績 評 価 方 法	編集技術（20%）、演出理解（20%）、作品審査（55%）出欠席（5%）		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科			2 年
科 目 名	キャッチコピー演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤	
時 間 数	前期：36 時間 / 後期： 時間	実務経歴：大手企業で、SE としてシステム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ポスター、チラシあらゆる広報物には、不可欠なキャッチコピー。キャッチコピーの考え方を歴代の作品から学び、写真やイラストと共に制作物を作成する。 公募に出品する成果物を作成する。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	基本的な考え方を講義形式で行い、過去の作品を参考に実践する。制作した課題をプレゼンテーションし他者の表現からも学習する。			
そ の 他				
	前 期			
授 業 の 概 要	グラフィックデザインや Web デザインにおいて、ターゲットに訴求する文章のテクニックを学ぶ。			
到 達 目 標	デザインを表現する場合、非常に重要なポイントであることを理解し、ターゲットにヒットするセンスあるキャッチコピーが作れるようにする。			
成 績 評 価 方 法	写真表現（20%）、イラスト表現（20%）、公募作品（25%）、自由制作（30%）出欠席（5%）			
テキスト・副読本	キャッチコピーの基本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	DTP 概論	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期：37 時間 / 後期： 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	実際現場で使用するアプリケーションソフトや機器の操作のメインとなる DTP。DTP オペレーターとして入社試験を受けに行き、実技試験を突破できるレベル内容。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	教科書を使用し、概論を学ぶ。 DTP オペレーターやグラフィックデザイナーが、印刷工程や仕組みの知識を知ったうえでデザインや印刷可能なデータをつくる重要性を知り、知識を身に付ける。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	DTP 基礎の教科書を使用し、知識を学ぶ。		
到 達 目 標	就職試験に通用するレベル。(専門的な実技試験)		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (50%)、確認テスト (45%) 出欠席 (5%)		
テキスト・副読本	DTP 印刷デザインの基本		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	ビジネスアプリケーション	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信
時 間 数	前期：36 時間 / 後期：時間	実務経験：平成元年より 3DCG 制作業務に従事。 独立後に在阪 TV 局での番組映像制作の経験から 講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	講義内容としては、テキスト 30 時間でマスターOffice2016 の内容を行う。 Mac での Excel を操作したことがない学生が大半であるため、基礎から行っていく。実 際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながら、検定 3 級合格レ ベルまで引き上げていく。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	テキストを単元ごとに進み、まず実際に Excel 操作を確認させ、その後実習を行ってい く。卒業後も就職先やプライベートでも Excel は必須であることを自覚させ、できるま で繰り返し操作をし、ひとつずつマスターしていく。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	Excel 表計算処理技能認定試験の 3 級レベルを目指す。Excel の基本的な操作（データ 入力、罫線・グラフの作成、関数の利用、セルの参照、判定条件、検索関数）について 学ぶ。		
到 達 目 標	表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。関数を使った簡単な表を作成し、 必要に応じて並べ替えやフィルター、を設定できグラフの作成まで出来るようにする		
成 績 評 価 方 法	前期試験 95%、出席席状況 5%		
テキスト・副読本	30 時間でマスター Office2016(実務教育出版株式会社)		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科			2 年
科 目 名	イラストレーション	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤岡 勝利	
時 間 数	前期：48 時間 / 後期： 時間	実務経験：東京のデザイン会社で4年間、フリーランスで15年間イラストレーターの業務に従事した経験を活かし、基礎的な表現力を身につけさせ、デザインやイラストレーションに活かせるように実習する。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザイン制作における表現力の幅を広げ、デザイン制作に活かす。権威ある公募の作品制作を通して、アートの感性とセンスを磨く。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	ラフスケッチで十分試作を重ね、完成度を高める。描くことが得意ではない学生もグラフィックソフトを駆使して、写真加工や表現方法を工夫することで作品を仕上げる。初めてCG作品に挑戦する学生に達成感を感じてもらいたい。			
そ の 他				
	前 期			
授 業 の 概 要	手作業からデジタルまで、様々な表現を身につけます。			
到 達 目 標	通常のデザイン案を作成するときに活かすことができるレベルの図案を作成。			
成 績 評 価 方 法	レイアウト構成（30%）、陰影表現（25%）、質感表現（20%）、遠近感（20%）、出欠席（5%）			
テキスト・副読本				

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	グッズデザイン実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤岡 勝利
時 間 数	前期：52 時間 / 後期： 時間	実務経験：東京のデザイン会社で 4 年間、フリーランスで 15 年間イラストレーターの業務に従事した経験を活かし、基礎的な表現力を身につけさせ、デザインやイラストレーションに活かせるように実習する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	グッズ、用途にあったデザインができるよう表現力・発想力を身につける。 デザインフェスタなどを通して実際に販売ができるよう参考を挙げながら制作する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	表現力・発想力を磨き、実際に販売するにあたり重要になるデザイン力、クオリティの向上。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	現在流通しているグッズのトレンドを取り入れ、制作を行う。		
到 達 目 標	それぞれのグッズにあったデザイン、使用場面、ユーザーを想定したデザインをおこなうことができるようになる。		
成 績 評 価 方 法	制作課題 95%、出欠席 5%		
テキスト・副読本	グッズ制作のアイデア辞典		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	DTP 実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	安藤 一生
時 間 数	前期：51 時間 / 後期： 時間	実務経験：グラフィックデザイナーとして 12 年間現場で、商品開発や特許出願開発に携わり、既製品としての商品開発から、顧客のニーズをヒアリングして制作する職務経験を活かす。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザインの初歩から応用まで実務を意識した課題を制作する		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	デザインの基礎を身につけ、ラフから完成まで自分でゴールを設定して遂行を目指す。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	担当教師の提示する基準を満たす。提出期限を遵守		
到 達 目 標	世の中で通用する採用されるレベルにする		
成 績 評 価 方 法	制作工程のラフスケッチ（10%）、市場調査の質と量（10%）、レイアウト（30%）、規約・要件を満たしているか（45%）、出欠席（5%）		
テキスト・副読本	・インターネット上のリサーチ		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科			2 年
科 目 名	Web デザインⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根理沙	
時 間 数	前期：36 時間 / 後期： 時間	実務経験： 岡山のメーカーで約7年間、インハウスデザイナーとしてグラフィックデザインや商品開発、ブランディングに関わる。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	実際に Web サイトを制作して世の中に向けて公開することができるようにする。Web デザインに重要なレイアウトや色、ファイル名の規則などを学び、課題制作を通して実践する。			
目指す検定・資格	特になし			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	Web サイト制作の流れを理解する。仮想クライアントからの要望について情報を整理し、Web サイトを制作する。			
そ の 他				
	前 期			
授 業 の 概 要	・ Web に特化した情報の整理の方法を学び、課題制作を通して実践する。			
到 達 目 標	Web サイト制作の仕組みを知り、Web サイトが制作できるようになる。			
成 績 評 価 方 法	制作物（85%）、提出状況（10%）、出欠席（5%）			
テキスト・副読本				

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	ディレクション	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期：63 時間 / 後期： 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザインの仕事を行う上で、ディレクション業務の内容理解を目的とする。クライアントの意向をデザイナーなど関係部署と調整する業務内容を理解し実践する		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	ディレクションの概要を理解し、マーケティングの授業と連携して課題に取り組む。企業連携で実践を行う事で、実務に近い経験を実施する。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	架空の企業・商品を教材に、実戦形式に授業を行う。個人作業ではなくグループ作業で担当決めスケジュール管理をリーダー中心に行う。 さらに、企業連携事業を取り入れ事業者様へディレクションを実践する。		
到 達 目 標	ディレクションを行う際、何を準備し何をヒアリングする事が必要であるか、さらにどのような調査が必要なのかを理解し実践できる力を身に付ける。		
成 績 評 価 方 法	制作工程のラフスケッチ（10%）、市場調査の質と量（10%）、レイアウト（30%）、規約・要件を満たしているか（45%）、出欠席（5%）		
テキスト・副読本	副教材 ・マーケティング見るだけノート		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科			2 年
科 目 名	デザイン表現	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行	
時 間 数	前期：48 時間 / 後期： 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザインの表現の幅を増やし、どんな仕事が増えても対応できるスキルを目指す			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	基礎から応用へ、プロになる人材として、より高いレベルまで仕上げるように頑張らせる			
そ の 他				
	前 期			
授 業 の 概 要	コンセプトを固めた上で、十分にラフを作り制作。期日厳守で課題提出日を区切る。初年度ではできなかったレベルまで提案できるよう、ブラッシュアップする。			
到 達 目 標	世の中で通用する採用されるレベルにする。			
成 績 評 価 方 法	ラフスケッチ(10%)、コンセプト(10%)、実製作 (55%) プレゼンテーション (10%)。採用実績(10%) 出欠席 (5%)			
テキスト・副読本	インターネット上のリサーチ			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	C G デザイン学科		2 年
科 目 名	ビジネス実務Ⅲ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期：21 時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。 そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。		
そ の 他	各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。 人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。		
	前 期		
授 業 の 概 要	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指す。 この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。 また、社会人としての心構えを身につける。		
到 達 目 標	①自ら即就職活動ができる。 ②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、早期出社ができるようにする。 ②漢字力・計算力を身に付け活用できる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（95%）、出欠席（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科			2 年
科 目 名	動画実習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信	
時 間 数	前期： 時間 / 後期：43 時間	実務経験：平成元年より 3DCG 制作業務に従事。 独立後に在阪 TV 局での番組映像制作の経験から講義を行う。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	動画の活用範囲を模索し、自身の表現手段を増やす。			
目指す検定・資格	特になし			
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	各種動画の特徴を理解し、案件に合わせた表現手法選択ができるようになること。			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	様々な用途に用いられる動画の制作技術習得 卒業研究への発展			
到 達 目 標	各課題の動画を自身の力で製作することができる			
成 績 評 価 方 法	編集技術（10%）、技術理解（10%）、作品審査（75%）、出欠席（5%）			
テキスト・副読本				

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	DTP 実習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	安藤 一生
時 間 数	前期： 時間 / 後期：30 時間	実務経験：グラフィックデザイナーとして12年間現場で、商品開発や特許出願開発に携わり、既製品としての商品開発から、顧客のニーズをヒアリングして制作する職務経験を活かす。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザインの実務を意識した課題を制作する		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	デザインの基礎を身につけ、ラフから完成まで自分でゴールを設定して遂行を目指す。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	担当教師の提示する基準を満たす。提出期限を遵守		
到 達 目 標	世の中で通用する採用されるレベルにする		
成 績 評 価 方 法	ラフスケッチ（10%）、市場調査の質と量（10%）、レイアウト（30%）、規約・要件を満たしているか（45%）、出欠席（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	・ インターネット上のリサーチ		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	プレゼンテーション技法	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期： 時間 / 後期：44 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	プレゼンテーションで、相手にどのように伝えるかの重要ポイントの解説。構成要素や資料の作り方、事前に準備すべきものと、プレゼン時のアドリブと気配り。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	就職試験で自ら制作した作品のプレゼンテーションや、卒業研究発表時に活かすための技術やテクニックを指導。資料のまとめ方や、見やすく与えられた時間の中で目的を達成するために効果的なプレゼンの理解と活用。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	プレゼンテーションを行う目的である「理解」「納得」「行動」この3つのステップで進め、「Who（誰が）」「What（何を）」「How（どのように）」の3つのポイントで展開。実際仕事で使用されている事例を基に解説後、各自でパワーポイントなど使用し、資料を制作。時間を決めてのプレゼンをクラス内で実施。ブラッシュアップし、ステップアップしていく。		
到 達 目 標	プレゼンテーションの流れや要点を理解し、就職活動時の作品プレゼンなどで内定に導くことができるレベル。		
成 績 評 価 方 法	発表1回目（30%）、発表2回目（30%）、発表3回目（30%）出欠席（5%）提出物（5%）		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科			2 年
科 目 名	卒業研究 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行	
時 間 数	前期：時間 / 後期：117 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	企業連携課題を制作し企業様に提供する。学科コラボで研究課題をディスカッションし双方で意味のある課題を制作し発表する。個人制作物も作成する。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	【指導方法】 ・前期より行っているデザインゴールズの制作物を完成に向けて企業様とのやり取りをサポートする。 【学生に期待すること】 ・実践と同様の経験から細かいところまでの意識を持てるようになって欲しい。			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	小単位のグループで企業連携として実際の企業様からヒアリングして課題を見つけ提案する。			
到 達 目 標	クライアントの意向に沿った成果物を作成、プレゼンする。			
成 績 評 価 方 法	提出物（95%）、出欠点（5%）			
テキスト・副読本				

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	卒業研究Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期： 時間 / 後期：81 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	学科の集大成として、これまで学習してきた内容をもとに、研究・成果物作成を行い発表する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 2年間の集大成として、個人及びグループで新たな課題に取り組む。レベルを維持するために、教員がチェックを行う。 【学生に期待すること】 ・学んだ内容を糧に新たなチャレンジをする。 ・到達目標を高く持ち、今までにない達成感を味わう		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	卒業研究発表会と制作展に向けて、個人が課題をもって作業し、プレゼンテーションの作成を行う。		
到 達 目 標	・プレゼンボード、成果物の作成提出 ・プレゼンテーションの実施		
成 績 評 価 方 法	提出物（95%）、出欠点（5%）		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	合同制作 II	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期： 時間 / 後期：35 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	後輩への指導と先輩と作業することで技術のスキルアップに繋げる。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	1 年生と 2 年生合同でグループワークにより課題を制作する。 仕事に対する立ち振る舞い方、上下関係を体感。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	企業連携及び作品展示。		
到 達 目 標	個人制作では到達できない完成度を目指す。		
成 績 評 価 方 法	制作工程のラフスケッチ（10%）、市場調査の質と量（10%）、レイアウト（30%）、規約・要件を満たしているか（45%）、出欠席（5%）		
テキスト・副読本	・インターネット上のリサーチ ・マーケティング		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	デザイン実務演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期：時間 / 後期：58 時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	検定だけでは推し量れない、オンリーワンの受賞を目指す。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	基礎から応用へ、プロになる人材として、より高いレベルまで仕上げるように頑張らせる		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	コンセプトを固めた上で、十分にラフを作り制作。期日厳守で課題提出日を区切る。初年度ではできなかったレベルまで提案できるよう、ブラッシュアップする。		
到 達 目 標	世の中で通用する採用されるレベルにする。		
成 績 評 価 方 法	完成度（85%）採用実績(10%) 出欠席（5%）		
テキスト・副読本	インターネット上のリサーチ		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	C Gデザイン学科		2 年
科 目 名	ビジネス実務Ⅳ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	太田 真行
時 間 数	前期：時間 / 後期：16 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。 そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。		
そ の 他	各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。 人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。		
	後 期		
授 業 の 概 要	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなる上を目指す。 この知識と企業研究で得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。		
到 達 目 標	①自ら即就職活動ができる。 ②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付けることができる。 ③漢字力・計算力を身に付け活用できる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（95%）、出欠席（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会		